

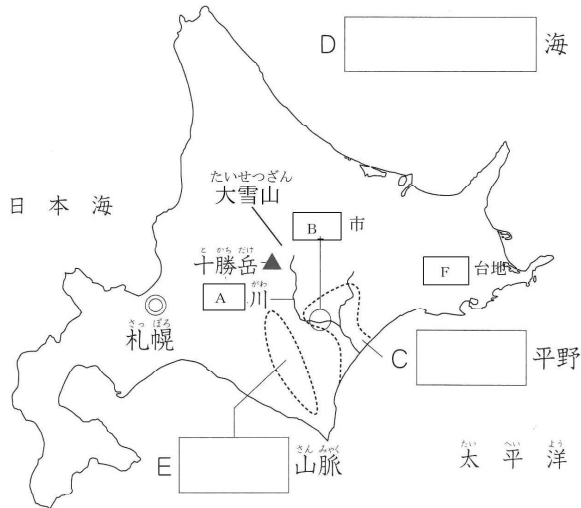
4年上 第11回 練習問題

〈まとめ〉

1 位置と地形

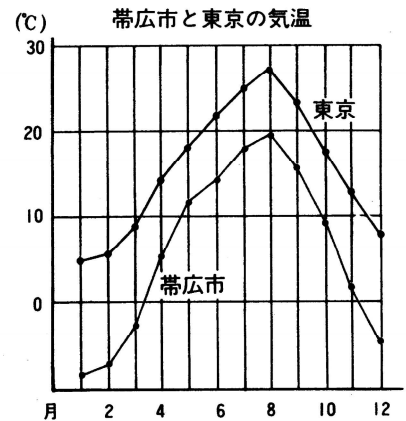
- 北海道南東部に位置する（1）平野は、北海道で（2）平野について2番目に広い平野である。
- この平野にはアメリカ合衆国の首都（3）をモデルにした（4）市がある。
- この平野の大部分は、（5）などの火山が噴火したときの火山灰からなっている。

下の地図のA～Fまでの地名を答えなさい（『考える社会科地図』を見ましょう。）



2 十勝平野の気候

- 十勝平野の中心都市である（4）市の冬の寒さはきびしく、1年のうちでいちばん冷えこむのは（6）月である。零下20度以下になる日もめずらしくない。
- （7）月から（8）月までの、（9）か月間の平均気温は0度以下になる。
- 夏の気温もあまり高くなく、帯広市の7月の気温は東京の（10）月や10月ころと同じである。
- 雪は、あまり多く降らない。



3 寒さの中での生活

- 家の中には大きな（11）を置き、多くの家では部屋全体を暖める（12）がもうけられている。
- 天井やかべには熱をとおしにくい（13）を使っている。
- 窓は（14）・三重窓にしている。
- 冬の冷蔵庫の使い方は、普通と逆である。冬は、保温のために使用する。

4 畑作中心の十勝平野

- 北海道は小豆・大豆・パンなどの原料となる（15）・砂糖の原料となる（16）(ビート)などの生産で、日本一である。
- なかでも十勝平野の耕地のほとんどが（17）や牧草地で、これらの生産がさかんです。

- ・十勝平野の土は、( 18 )をふくんでいて、栄養分が少なく、水を通しやすいため、米を作る水田にむかない。
- ・土地に栄養分が少ないことを「土地が( 19 )ている」といいます。逆は「肥えている」という。
- ・道路などに沿って一直線に木が植えられているのは、強い風から作物を守るための工夫で、その木々を( 20 )林という。

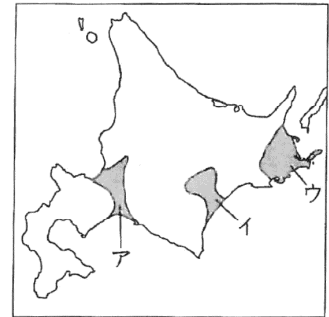
### 5 十勝平野の酪農

- ・乳牛を飼い、牛乳や乳製品をつくる農業を( 21 )という。
- ・( 22 )という種類の乳牛は寒さに強く、ふんは肥料として使える。
- ・牧場には牛が冬の間にたべるえさをつくる( 23 )という建物があります。

練習 1. 十勝平野について、次の問いに答えなさい。

〔問 1〕十勝平野の位置を右の地図から選んで、記号で答えなさい。

〔問 2〕十勝平野の農業について、次の問いに答えなさい。



1 同じ土地で同じ作物を続けてつくと、取れ高が減ったり、作物が病気にかかりやすくなったりすることがあります。そのため、十勝平野では畑でつくる作物を年ごとにかえています。このような栽培方法を何といいますか。

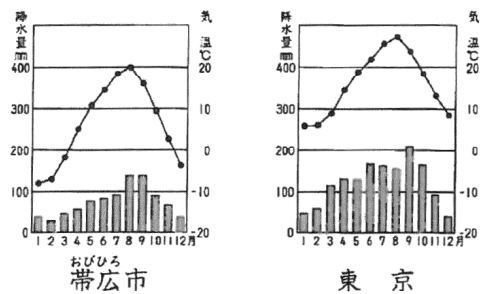
2 十勝平野でさかんにつくられている作物として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 大豆                      イ ジャガイモ                      ウ 小麦                      エ きゅうり

3 濃霧で日光がさえぎられ、夏に気温が上がらないと、農作物の育ちが悪くなることがあります。このような自然災害を何といいますか。

4 十勝平野では、牛乳や乳製品をつくるために乳牛を飼う農業もさかんです。このような農業を特に何といいますか。

〔問 3〕右のグラフは、十勝平野の中心都市である帯広市と、東京の気候グラフです。これらから読みとれることとして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。



ア 1年間の降水量をくらべると、東京の方が多くなっています。

イ 帯広市の7月の平均気温は、東京の5月や10月とほぼ同じです。

ウ 平均気温の最も高い月と最も低い月の気温差は、東京の方が大きくなっています。

練習 2. 次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

ま り：①十勝平野で行っている輪作はどのような栽培方法なの。

お兄さん：一つの畑でつくる作物を年ごとにかえていく栽培方法だよ。たとえば、②てん

さいをつくった畑で、次の年には小豆<sup>あずき</sup>をつくるんだ。

ま　　り：どうしてそんなことをするの。

お兄さん：同じ土地で同じ作物を何年も続けてつくと、土地の栄養分<sup>えいようぶん</sup>が少なくなって、  
 取れ高<sup>とれたか</sup>が減ったり、作物が病気にかかりやすくなったりしてしまうんだ。これを  
 □<sup>しょうがい</sup>障害というのだけれど、このような害を防ぐために輪作を行うんだよ。

〔問1〕 □にあてはまることばを答えなさい。

〔問2〕 下線①について、次の問いに答えなさい。

1 十勝平野では畑作だけでなく、牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>や乳製品<sup>にゅうせいひん</sup>をつくるために乳牛<sup>か</sup>を飼う農業もさかんです。このような農業を特に何といいますか。

2 十勝平野にある帯広市の気候グラフを次から選んで、記号で答えなさい。

〔問3〕 下線②について、次の問いに答えなさい。

1 てんさいについて述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

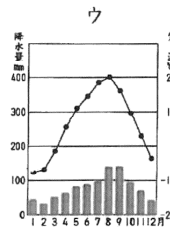
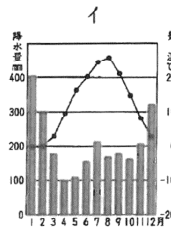
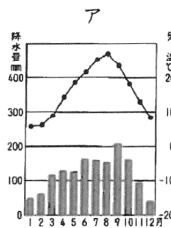
ア ビートともよばれています。

イ 沖縄県<sup>おきなわ</sup>でもさかんに栽培されています。

ウ 根はさとうの原料になります。

2 てんさいのように、北海道が日本一の生産<sup>せいさん</sup>をあげているものとして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 小麦　　イ ジャガイモ　　ウ 大豆<sup>だいず</sup>　　エ トマト



【まとめ 解答】

1. 十勝<sup>と かつ</sup>    2. 石狩<sup>いしかり</sup>    3. ワシントン    4. 帯広<sup>おびひろ</sup>    5. 十勝岳<sup>と かつ だけ</sup>  
A 十勝    B 帯広    C 十勝    D オホーツク    E 日高<sup>ひ だか</sup>    F 根釧<sup>こん せん</sup>  
6. 1    7. 12    8. 3    9. 4    10. 5    ← 気候グラフの読み取り  
11. ストーブ    12. 床暖房<sup>ゆか だん ぼう</sup>    13. 断熱材<sup>だん ねつ ざい</sup>    14. 二重窓<sup>に じゅう まど</sup>    15. 小麦<sup>こ むぎ</sup>    16. てんさい  
17. 畑<sup>はたけ</sup>    18. 火山灰<sup>か ざん ばい</sup>    19. やせ    20. 防風<sup>ぼう ふう</sup>    21. 酪農<sup>らく の う</sup>    22. ホルスタイン  
23. サイロ

【練習問題 解答】

練習 1.

- 問1 イ    問2 1 輪作<sup>りん さく</sup>    2 エ    3 冷害<sup>れい がい</sup>    4 酪農<sup>らく の う</sup>    問3 ウ

〈解説〉

〔問2〕 1 同じ土地で同じ作物を続けてつくと、取れ高が減ったり、作物が病気にかかりやすくなったりする連作障害<sup>れん さく しやう がい</sup>がおこることがあります。これを防ぐために、十勝平野では、一つの畑でつくる作物を年ごとにかえていく輪作が行われています。

〔問3〕 ウ：帯広市<sup>おびひろ</sup>で月平均気温が最も高いのは8月で約20℃、最も低いのは1月で約-8℃と、28℃もの差があります。

練習 2.

- 問1 連作<sup>れん さく</sup>    問2 1 酪農    2 ウ    問3 1 イ 2 エ

〈解説〉

〔問2〕 2 アは東京、イは新潟県十日町市<sup>にいがた とお か まち</sup>の気候グラフで、日本海側<sup>にほんかいがわ</sup>なので、12・1月と冬の降水量が多くなっています。

〔問3〕 1 てんさいはビートともよばれ、北海道で栽培<sup>さいばい</sup>されているさとうの原料となる作物です。根が砂糖<sup>さとう</sup>の原料になります。砂糖づくりに使った後の根と、くきや葉は、乳牛<sup>にゅうぎゅう</sup>のえさになります。沖縄県でさかんに栽培されている、さとうの原料となる作物はさとうきびです。(p, 64「ひとくちメモ」)

2 トマトは熊本県<sup>くまもと</sup>などで生産量<sup>せいさんりょう</sup>が多くなっています。